

風紋

vol.57 2018 / Spring

鳥取大学広報誌 FU-MON

新入生歓迎特集

在学生にも役立つ『大学生活を充実させるヒント』が満載!

必読の
2本立て!

No.1 学長×学生座談会

No.2 鳥大学生支援百科

社会
貢献

障害者福祉と障害児教育の共同研究を志して

話題の
研究室

農学部附属フィールドサイエンスセンター
作物管理学研究室

トリカツ!

鳥取のグルメは「鳥取なにとべ!」アプリで!

学びを
支える

教育支援・国際交流推進機構
キャリアセンター

新任教員
紹介

医学部・大学院工学研究科

『優秀学生』に選ばれた先輩たちに聞く 学長×学生座談会



鳥取大学には、学業の成果が特に優れている学生を表彰する「優秀学生表彰制度」があり、優秀学生には学資として奨学金も授与されます。今回は豊島良太学長と平成29年度の優秀学生に選ばれた3人の学生が対談。受賞の喜びや充実した学生生活を送るコツなどを語っていただきました。



答えを求め続けた学生生活 先生や友人、家族に感謝

●学長 今年度もあなたたちのような優秀な学生を表彰できることをうれしく思っています。まずは喜びの声を聞かせてください。

●山崎 受賞の連絡をいただいて驚きましたが、とても光栄に思っています。高校時代は問題に明確な答えがありませんでしたが、大学では答えを知りたかったら自分で調べないといけません。図書館で本を探し、それを読んでも分からない時は先生や先輩に質問して教えてもらいます。レポートも納得できるまで何回もやり直します。そうやって答えを求め続けた頑張りや評価していただけたのは大変うれいんです。これも先生方や先輩、支えてくれた家族のお陰だと感謝しています。

●菱川 この度はこのような名誉ある賞を授与していただき、誠にありがとうございます。これもご指導いただいている先生方や理解し支えてくれる家族、そして共に学び高め合える友人や先輩、後輩のお陰です。私たちは岐阜大学との共同獣医学科の1期生として入学しました。両方の大学の先生や事務の方々が、さまざまな工夫で学びやすい環境をつくってくれたことに厚く感謝しています。

●岡田 ぼくもこの度の表彰を大変うれしく思っています。ご指導いただいた先生方や一緒に勉強してきた友人、家族の支えがあつてこそだと思っています。また、病院での実習で患者さんからもとても多くのことを学びました。担当させていただいた患者さんにも感謝しています。

●学長 皆さんは学生生活においてどんな努力をされていますか？

●菱川 獣医学は非常に幅広い学問で、特に共同獣医学科は双方の大学の先生から専門性の高い授業を受けることができるので、どの分野も大変興味深く「一生に一度しか授業を受講することができない」という意識で日々臨んできました。

●岡田 講義に出て、その授業のポイントを理解して、家に帰って復習する。部活動や遊びとメリハリをつけながら、毎日コツコツと勉強してきたことが良かったのだと思います。医学部で身に付けなければならぬ膨大な知識の中で、1、2年生で学ぶ基礎医学が土台となり、3、4年時の臨床医学へとつながるため、低学年から継続的に勉強してきて良かったなと実感しています。

●山崎 幼い頃から書道をしてきて漢字が好きだったので中国語に興味を持ち、大学に入ってから中国語を取り続け、県



てしま りょうた
豊島 良太 学長



やまさき あきよ
山崎 爽代さん

地域学部
地域環境学科4年

兵庫県芦屋市出身。両親が鳥取市と米子市の出身で、鳥取とは縁が深い。卒業後は公務員を志望している。



ひしかわ そうた
菱川 創太さん

農学部
共同獣医学科6年

岡山県真庭市出身。岡山大学教育学部卒業後、実家が畜産を営んでいたことや、獣医師である父の影響等で獣医を志し、鳥取大学に入学。

の交換留学生の制度を利用して2週間、吉林省の大学を訪れました。現在は文化財の保護に関して化学的な視点からアプローチしています。赤色顔料を研究テーマに、中でも日本でも多く使われているベンガラという顔料について調べています。

勉強に集中できる環境 至る所に学びの種を発見

●学長 課外活動はしていますか？

●岡田 医学部のソフトテニス部に入っただけですが、部員が約80人いるので、近くの公園や境港市のコートを借りて活動しています。

●山崎 オープンキャンパスの手伝いや砂丘の除草などのボランティアに時々参加していました。今も中国からの留学生の学生パートナーとして、日本語の習得や日本に慣れるお手伝いをしています。

大学公式のアルバイト情報サイト「トリジョブ」で探して、アルバイトにも励んでいます。

●菱川 勉強や実習に時間を使いたいのではクラブ活動はしていませんが、鳥取に来てたくさんの人に出会い、人の輪を広げることができました。たくさんの人とのつながりは、これからの人生において大きな財産になると実感しています。

●学長 鳥取大学に入って良かったと感じることは？

●山崎 学生の数に対して先生方の数が多く、懇切丁寧に教えてくださるので勉強に集中できる環境が整っているところだと思います。

●菱川 鳥取大学に入って、至る所に学びの種があるなと気付きました。多様な価値観を持っている方が多く、教授をはじめ大学の職員さん、先輩や後輩からたくさんのことを学びました。また優秀な学生表彰のような制度があるのも、学生にとって大きな励みになると思います。

●岡田 鳥取大学は海と山に囲まれた自然豊かな土地にあり、日本全国から優秀な学生が集まってきています。学生同士が刺激を与え合いながら、自分のしたいことや目標に向える大学だと思っています。

背景も含めて総合的に診られる医師を目指しています。

●山崎 人と接したり、何かを教えたりすることが好きなので、利他の心で地域の方々や国民にサービスを提供できる公務員になりたいと思っています。公務員試験に向けて、大学で「公務員講座」を受講できるので助かっています。

●学長 最後に、新入生へ伝えたいことは？

●岡田 自分の目標に向かってしなければならぬことと、挑戦したいことのメリハリをつけ、充実した学生生活を送ってください。

目標や興味を持ったことに ひたむきに全力で取り組んで

●学長 卒業後の進路は決めていますか？

●菱川 主に牛などの畜産に関わる産業動物獣医師として働きたいと考えています。現在、就職活動中で、キャリアセンタ―に就職に関する相談をしています。

●岡田 患者さんと心の触れ合いができる医師になりたいです。特定の臓器・疾患に限定せず多角的に診療を行う総合医療に興味を持っています。患者さんの生活

●菱川 謙虚さとひたむきさを忘れずに、興味を持ったことに全力で取り組んで、学び楽しんでいただきたい。そして、人の輪を広げて、人生を豊かにしてください。

●山崎 大学の4年間は長いようで短いですが、1、2年生の時間の余裕のあるうちに大学の留学支援プログラムを使って留学しておけばよかったと少し後悔しています。大学のさまざまなサポートを活用していろいろなことに挑戦し、後悔のない大学生活を送ってください。

●学長 皆さんのお話を聞かせてもらって、すっかり勉強してこられた姿に感動しました。私たちが学生だった頃は、ややもすると勉強よりも遊びを優先していた。今は昔より学ぶ量も増えているのに、よく頑張つてこられましたね。今後の活躍も期待しています。

鳥大学生支援百科

充実の学生サポート

本学では、学生の皆さんをバックアップする制度をたくさん設けています。特集2では、数ある支援制度のうち、20項目をご紹介します。新入生だけでなく、在学生、大学院生が利用できるものも、うまく活用して、充実した学生生活を送りましょう！

学1業 留学

留学したい学生への
留学相談・情報提供

鳥取大学では、毎年
約**350人**
が留学しています！

海外留学に興味のある学生に対し、プログラム内容や事前準備・研修、奨学金等の情報提供やアドバイスをしています。

✈ 鳥取大学の留学は多種多様！

専門を極めるプログラム	●鳥取大学インターナショナル・トレーニング・プログラム(TU-ITP) ●各学部の専門教育で実施する海外プログラム
海外実践プログラム	●ウガンダ海外実践教育プログラム ●メキシコ海外実践教育プログラム
語学・多文化共生力プログラム	●台湾英語研修(春) ●マレーシア英語研修(春・夏)
語学プログラム	●オーストラリア英語研修(春) ●アメリカ英語研修(春・夏) ●カナダ英語研修(夏)
国内英語イメージプログラム	

●その他こんな留学も！

協定校への交換留学
海外の協定校との間で学生を相互派遣・受入する制度。休学なしで3か月～1年間留学することができ、現地学生と一緒に単位取得を目指します。

トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム
海外でのインターンシップ等実践活動を含めた留学で、学生自らが留学プランをデザインします。渡航費、授業料、滞在費の支援が受けられます。



国と民間が協働で進める海外留学促進プロジェクト

✈ 留学前後のサポート

- 留学前の研修・講義** 事前研修、海外安全マネジメント講義などを行います。
- Lunch Time World Café** 留学を終えた学生たちの生の声を聞ける、貴重な機会です。
- G-frenz・日本語パートナー** 留学生のサポート、国際交流イベントの企画など留学生との交流の場。

✈ 留学のための奨学金

日本学生支援機構(JASSO)、鳥取大学国際交流基金、その他さまざまな団体による奨学金制度があり、留学プランに合わせて選択できます。

詳しくは「鳥取大学Global Gateway Program」で！



担当 国際交流センター・国際交流課

学3業 レポート

大学生になると増えてくるレポート課題。「どうやって書いたらいいかわからない」という学生の声に応え、執筆手順や引用の仕方、参考文献のまとめ方などをレクチャーします。



▲レポート書き方講習会の様子

担当 鳥取大学附属図書館

レポート作成に
役立つヒントを解説
「レポートの書き方講習会」
事前予約不要
各回**40名**
(先着順)

学5業 証明書

各種証明書を
スムーズに発行
[証明書自動発行機]

簡単な操作で在学・卒業見込証明書、学割等各種証明書をセルフ発行できます。



担当 教育支援課

課7外 課外活動

屋内・外体育施設や合宿研修所の利用、物品の貸出などを行い、充実した課外活動が行えるよう支援します。また、特に優れた活動を行った団体等には「課外活動学長賞」が授与されます。



▲学長賞受賞者には、表彰状のほか副賞(物品援助)を贈呈

鳥取大学体育会漕艇部の活動の様子

担当 生活支援課

サークル活動が
円滑に楽しく
行えるように



学4業 優秀学生

模範学生の表彰と学資助成

■優秀学生表彰

学業成績等が特に優秀な学生に対し、今後への期待と奨励を目的とした表彰を行っています。受賞者には、表彰状のほか、地域社会の篤志家の方から寄附された奨学金を授与し、学資を助成します。



▲入学式で行われた表彰式の様子

担当 教育支援課

■優秀学生への奨学金

学業・研究への意欲向上を促すため、優れた学生らに学資を支援します。

鳥取大学正光奨学金	(株)正光様からの寄附金を原資に、学業優秀ながら経済的困窮度の高い学生らに給付。
鳥取大学大学院エンカレッジ・ファンド	大学院博士課程(博士後期課程)に入学・進学する学生を対象に、研究意欲の向上と優れた研究の推進を目的として給付。

担当 生活支援課

学6業 履修登録

授業選択・登録をサポート
[4月全学共通科目説明会・学部別オリエンテーション]

毎年4月上旬、初めての履修登録に戸惑う新入生を対象に実施、全学共通科目・専門科目の選択・履修方法等について説明します。不安や疑問があれば担当課や所属学部の教務係、教員がいつでも相談に応じます。



担当 教育支援課

課8外 アルバイト

安心して応募できる
アルバイトの斡旋

鳥取大学が大学生協に委託しています

鳥取大学生協が審査した求人情報のみが掲載されており、安心して応募できます。

鳥取大学公式
アルバイト情報サイト
『トリジョブ』
http://torijob.toridai-coop.jp/

担当 鳥取大学生協

学2業 語学

学内での語学力強化

- 語学強化コース** 留学を考えている学生のための英語・スペイン語・中国語の学習プログラムです。
- 語学シャワー室** 語学学習教材や海外研修の資料を常置。留学生との交流の場でもあります。



担当 国際交流センター・国際交流課

経16 済
奨学金

経済的サポート
[奨学金]

奨学金は、学ぶ意欲にあふれ、優秀かつ健康な学生に対して学資を支援する制度です。在学採用もあり、4月中旬に説明会を行っています。

奨学金の種類		給付形態
日本学生支援機構	第一種奨学金	毎月貸与(無利子)
	第二種奨学金	毎月貸与(有利子)
	入学時特別増額貸与奨学金	入学時の1回のみ貸与(有利子)
地方公共団体及び民間育英団体の奨学金		それぞれに異なる

担当 生活支援課

授業料免除の学生を対象に、図書館や学生支援の補助業務といったアルバイトを紹介。職業観を育むとともに経済的支援を図ります。

経17 済
生活支援



◀学内ワークスタディの学生が企画したクリスマス特別イベントの様子

キャンパス内で
アルバイト
[学内ワークスタディ]

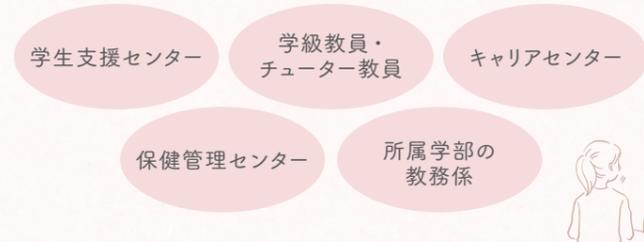
担当 生活支援課

相20 談
相談窓口

困ったときは1人で悩まず
いつでも何でも相談を!

新しい環境で始まる大学生活には誰しも戸惑うもの。入学から卒業・修了時まで、学生たちが安心して過ごせるよう相談窓口を設けています。学習・単位、人間関係、アルバイト、健康、就職・進学、ハラスメントなど、内容に応じて専門の相談員が対応します。

困ったときの相談窓口はこちら



経15 済
授業料

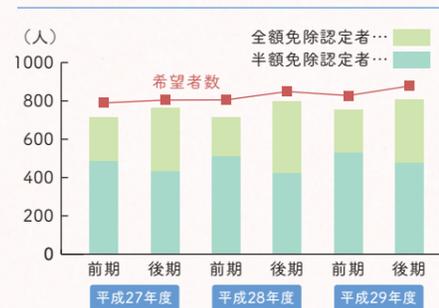
授業料の免除

次のいずれかの要件に該当する学生は、選考の上、授業料の全額または半額が免除されます。

【授業料免除の条件】

- 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- 保護者が死亡、または学生もしくは保護者が被災し、納付が困難であると認められる場合
- 上記に準じ、学長が相当と認める事由がある場合

授業料免除希望者数と認定者数



担当 生活支援課

希望者の9割程度が
授業料免除を受けています

経18 済
修学支援

鳥取大学
修学支援事業基金
による支援

本学が独自に行っている基金事業の一つ。一般から募った寄附金を財源に、特に経済的困窮度が高い学生に対して学資を支援します。

担当 生活支援課

便19 利
生協

便利&お得が
いっぱい
[鳥取大学生協]

学業と生活、両方に
役立つものばかり!

- ◆ ミールカード
- ◆ TOEICの学内受験
- ◆ 教科書販売 等

担当 鳥取大学生協



就10 職
公務員

将来、公務員に
なりたいと思ったら
[公務員試験対策講座の開催]

公務員志望の学生を対象に毎年開講。筆記試験対策、面接・集団討論の練習等に加え、先輩の体験談を聞く機会もあります。

担当 就職支援課

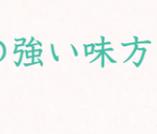


就12 職
教職

教職志望者の強い味方
[教職相談室]

教員養成センター1階に「教職相談室」を設置しています。教員を目指すに当たり、分からないこと、悩んでいることがあれば、教職に精通している経験豊富な教員が相談に応じます。

担当 教育支援課



就14 職
就職活動

就活の進め方、エントリーシートの添削、面接練習、インターンシップなど、就活に悩んだらまずはキャリアセンターへ。個別相談(1回40分・予約制)にも応じています。

【主なサポート】

- 就職ガイダンス
- 就活スタートアップガイダンス
- メイクアップ講座 等
- 『就活ニュース』の発行
- 学内合同企業説明会
- 就職活動に関する書籍・DVDの閲覧・貸出
- 少人数セミナー
- 自己分析
- エントリーシートの書き方 等



▲メイクアップ講座の様子



担当 就職支援課

就職に関する相談や情報の提供
「キャリアセンター」

◀面接対策講座の様子(写真左)と、就活生に必要なビジネスマナー講座の様子(写真右)

就9 職
就活支援

就活交通費の
負担を軽減
[高速バス回数券販売]

関西エリアで就職活動を行う就活生を対象に、期間限定で鳥取～神戸・大阪線の高速バス回数券を安価で販売(利用枚数制限あり)しています。企業訪問や就職セミナーへの参加など、就活が積極的に行えるよう支援しています。

担当 就職支援課



就11 職
教員免許

教員免許
取得の支援

教育職員免許状の取得を目指す学生には、各学部ごとにガイダンス、オリエンテーションを開催します。必要な手続き、所定の単位とその修得方法、教育実習の履修要件、別途履修すべき科目等について詳しく説明。各学部の掲示板でも随時情報を提示しています。

担当 教育支援課

就13 職
企業見学

地元企業を気軽に訪問
[鳥取県内企業見学シャトル便]

授業の空き時間などを利用して、鳥取県内の企業を気軽に訪問できる事業を実施しています。興味のある企業に2～8名程度の少人数で行ける、就活生だけでなく1年生から利用できるなどが特長。就活への第一歩に最適です。



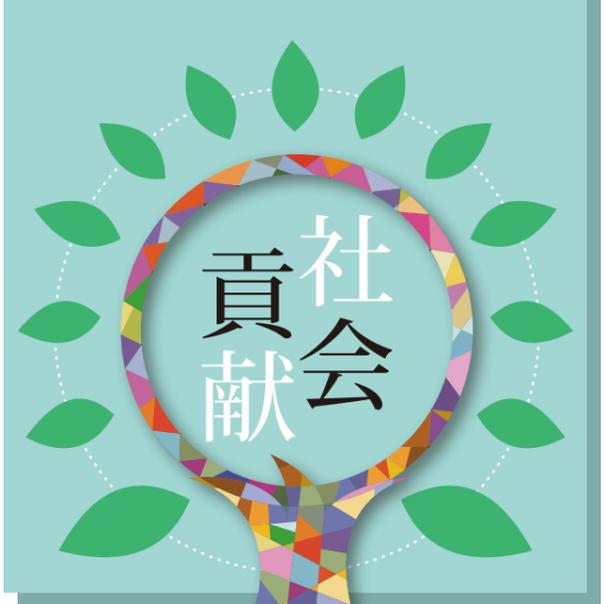
▲シャトル便を活用した企業見学の様子

【これまでに訪問した企業】

(株)ササヤマ/今井航空機器工業(株)鳥取工場/有ひよこカンパニー/安田精工(株)/日中東北物産(株)/株LASSIC/株チュウブ/株井木組/株明治製作所/株アックス/大山乳業協同組合 等



担当 地(知)の拠点大学による地方創生推進室



社会 貢献

障害者福祉と 障害児教育の 共同研究を志して

京都府北部丹後地方の障害児教育、障害者福祉から多くのことを学んできました。養護学校義務制に先んじて開拓された障害児教育。卒業後を引き継いだ障害者福祉。障害のある人を入る主体と見る思想と実践。現代日本の学校教育が学び取るべき価値が、ここにはあるように思えます。

みき ひろかず
三木 裕和 教授
地域学部地域学科人間形成コース
鳥取大学附属特別支援学校校長(併任)

略歴
1979年 関西大学文学部哲学科卒業
1980年 兵庫県立水上養護学校 講師、その後 教諭
2000年 兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程(障害児教育専攻)修了
2011年 鳥取大学地域学部地域教育学科 准教授
2014年 鳥取大学地域学部地域教育学科 教授

専門 障害児教育学
趣味 音楽鑑賞(ジャズ・ロック)/お酒



写真1 社会福祉法人あみの福祉会編著『花咲き夢咲く桃山の里 地域と歩む障害者福祉』(2015年、クリエイツかもがわ)



写真2 ダウン症女性が描きました。友だちなのか、家族なのか、おそらくは親しい人の顔をいつもたくさん描きます。

写真3 自閉症女性の作品。数字はきっと時刻です。本人にとって意味のある時刻なのでしょう。「カエル、ピョン」と独り言を言いながら、右端に蛙を描いています。



京都府北部丹後地方の障害児教育、障害者福祉。府北部丹後地方は特別の意味を持っています。京都府立与謝の海養護学校、その流れを受け継ぐ障害者福祉運動があるからです。戦後、教育基本法、学校教育法によって、わが国の教育制度の基本が定められたにもかかわらず、障害児の教育権保障については国家的サポーター・ジュが続き、養

護学校は全国に数えるほどしか設置されませんでした。「養護学校に入るのは東大に入るより難しい」と言われ、多くの障害児が学校教育から排除されました。その時代に、障害児の親、学校教員、地域の人々が共同して、障害児学校の新設運動に取り組んだのがこの地方です。野火のように広がった教育権運動は京都府政を動かし、養護学校義務制(1979年)の10年前、府立与謝の海養護学校が作られました。学校設立の基本理念、①すべての子どもにひとしく教

育を保障する学校をつくらう、②学校に子どもを合わせるのではなく、子どもに合った学校をつくらう、③学校づくりは箱づくりではない、民主的な地域づくりである、は今も私たちの胸を打ちます。私が養護学校教員になったのは養護学校義務制の翌年、1980年ですが、それ以降、この地域の実践研究に学ぶことでこの仕事を続けることができました。特に、2008年から始めたあみの福祉会との共同研究は、個人的にも大切な財産となっています。福祉会の職員

とともに困難事例を読み解き、実践の方向を探る作業は、課題の深刻さを共有しながらも、いつも明るさと希望に満ちていました。その成果は社会福祉法人あみの福祉会編著『花咲き夢咲く桃山の里 地域と歩む障害者福祉』(2015年、クリエイツかもがわ)(写真1〜3)としてまとめられています。私は編集・執筆者の一人として協力しました。

息の長い実践

学校教育と違って、福祉のフィールドには「卒業」というものがありません。実践は出口のない長い旅となるのですが、逆に言えば、それは結果を急がない、息の長い取り組みが可能とも言えます。

例えば、70歳代のHさんは、車いす使用の脳性まひの男性です。養護学校義務制に間に合うことなく学齢期を終えています。学校教育を受けずに、ずっと在宅で過ごしました。手指のまひがあり、親しい人でないと会話も聞き取れません。お母さんに文字を教えてもらい、簡単な作業に取り組んで生活をしてきました。しかし、家族の高齢化にともない、家庭介護も立ち行かなくなると、あみの福祉会で入浴サービスを受けることになりました。家族以外の人とふれあう機会はこちらが初めてだったそうです。恥ずかしがり屋のHさん。障害のある

仲間や職員とうちとけることなく、お風呂以外は人目を避けるように素通りしました。「一緒にお茶でも飲んで帰りませんか」との誘いにも、手を左右に振って「知らない」のサインがかえってくるのみでした。「お願いだから、僕に話しかけないで…」とでも言いたげな表情でした。

ドーナツの買い出し

ところが、ある年のクリスマス会で『くいしんぼんのドーナツ』という劇をすることになり、「みんなの気持ちを盛り上げるために、ドーナツを買いにいって、みんなで食べよう!」という計画が持ち上がります。買い出しメンバーの一人に選ばれたのがHさんでした。行ってくれるのだろうかと思いが不安があるなか、Hさんはドーナツのメニュー表をじっと見ていました。ショッピングセンターに出かけたHさんは、仲間のドーナツを次々と選んでいきました。笑顔でドーナツを買い求める様子がカメラに収められています。

障害を理由として、家からほとんど出ることなく人生を過ごした脳性まひの人。その人が高齢になって初めて社会との接点ができる。雪が降る日も福祉会に行きたいと家族に雪かきを頼んだり、仲間と一泊旅行に出かけたりするまでになりました。彼が福祉会のために

作詞した歌が、今も歌い継がれています。

♪この青い空と緑の山々のふるさと
丹後で育った仲間たちの
安らぎと希望

太陽と光とチューリップハウス
しまづのさと

学校教育は何を学ぶべきか

現代日本の学校教育は成果主義に流されようとしています。「短期間で目に見える結果を出せ」と迫られています。障害のある子どもを一般企業就労へと導く。それが困難な場合、福祉的就労に臨み、少しでも社会に迷惑をかけないようという圧力がかかる。教員も子どもたちも強い圧力に苦しんでいます。

京都府北部で検討する事例には、あくせくとした息苦しさがありません。それは単に実践が長期間だからというだけでなく、障害のある人を発達の主人公としてみる人権思想があるからでしょう。ここでは、障害のある仲間も指導員も明るい笑顔を絶やすことがないのでありますが、この人権思想こそ、笑顔の温床だろうと思います。大学で障害児教育学を講じる者として、学校教育は、この大らかな力をどのように学ばべきなのか、それを研究課題として考え続けています。



農学部附属フィールドサイエンスセンター
作物管理学研究室

担当教員 山口 武視 教授

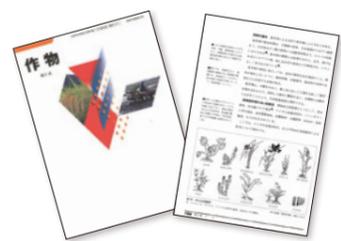
新しい栽培技術を生み出すのは
根気強い観察と柔軟な発想

農家のお悩み解決に挑戦！

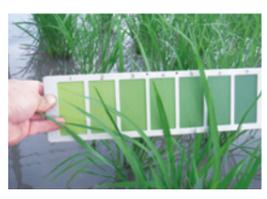
「作物愛」にあふれている農家の人たちは、作物が発するわずかなサインを見逃しません。ほんの小さな茎の膨らみ、微妙な葉色の変化などを毎日観察して作物の状態を把握しているのです。それを「農家の勘」と片付けてしまうのではなく、稲の葉色を簡易的に診断できる装置を使ったり、稲の茎を切り、そこからどれくらい水が吸い上げられているか(出液量)を計測するなどして、追肥のタイミングや発育状況の把握を具体的な数値で表す方法を探っています。私はこれを「作物愛の数値化」と呼んでいます。誰でも簡単に測ることができれば、高品質な作物をたくさん収穫できる技術が確立できると考えています。



段ボールの再生紙で田んぼの表面を覆う(マルチング)の様子



「再生紙マルチ栽培」として教科書で紹介



微妙な葉色の変化を観察し数値化

もう一つ、「水稻の再生紙マルチ栽培」をご紹介します。圃場に生い茂る雑草は、農家を悩ませる大きな問題。有機栽培ならばなおさらです。除草剤を使用しない雑草対策には、深水栽培、アイガモ農法などさまざまなありますが、どれも手間がかかります。何かいい方法がないかと考える中、ある日一人の学生から「田んぼにマルチングをしたらどうか」というアイデアが出てきました。

この発想をきっかけに、試行錯誤を重ねてたどり着いたのが再生紙を用いたマルチング。段ボールの再生紙が最適で、主成分がセルロースなので、60日ほどしたら分解されてなくなるのが特長。この成果を受けて地元の製紙会社が稲作用の再生紙マルチを製作、さらには鳥取県農業試験場と農機メーカーが中心となって

再生紙マルチ専用の田植機も開発されました。この技術は全国へと広がり、教科書で紹介されるほどになっています。

幻の酒米でオール鳥大の酒造り

実は今、鳥取県生まれの酒米「強力」を再生紙マルチで無農薬・無化学肥料栽培し、平成31年の本学創立70周年記念の日本酒を造ろうというプロジェクトが進行中です。

強力は栽培が難しいことから、昭和20年代に生産が途絶えました。しかし、唯一本学農学部だけが育種用に保存栽培をしており、その種子を提供して強力が復活したという歴史があります。

この研究室が中心となり、湖山農場の32アールに強力米を作付け。収穫後は山根酒造場に酒造りを依頼、来夏に完成する予定です。鳥大が保存していた酒米を、鳥大の圃場で、鳥大発の再生紙マルチにより栽培する、「オール鳥大」の酒造りにご期待ください！



やまくち たけし
山口 武視 教授
農学部附属
フィールドサイエンスセンター

作物のわずかな変化を観察し、多収穫栽培へつなげる



鳥取キャンパスの西端、隣に12ヘクタールの農場を持つ農学部附属フィールドサイエンスセンターにある研究室。品質のよい物がたくさん穫れるような“栽培のツボ”を探ることに焦点を当て、稲・大豆の多収穫栽培、作物の根系機能の解明、有機栽培の技術などの研究を行っている。山口武視教授が掲げる研究室のモットーは、「作物をよく観察すること。教授はそれを「作物愛」という独特の言葉で表現する。「人間でいえば、お母さんが子どもの顔色を見て『今日は体調が悪そう』と分かるのと一緒で、作物を毎日一生懸命見ているとわずかな変化に気付く。それぐらい作物を愛してほしい」と熱く語る。

学生の自主性を大切にする自由な気風で、可能な限り興味のある研究ができるよう教授が導く。ポイントさえ押さえれば研究の進め方やスケジュールも学生自身に任せている。「でも、分からないことがあったらすぐ詳しく教えてくれるんです」と学生からの信頼は厚い。

センターにはほかにも「農業生産工学」「施設園芸学」の2研究室があり、調査や収穫で多忙な時期は3研究室がお互いに助け合うのだとか。「チームワークが養えるし、他分野に関わるのがいい刺激になっている」と教授。作物だけでなく、人間力の成長も促している。

直近5年以内の

研究室所属学生の主な進路

- 地方公務員(鳥取県)、消防署、
- フィード・ワン、第一園芸、八天堂、
- 但馬寿、日野洋蘭園、
- 俳優・筋肉系ユーチューバー など

学生たちに聞きました /
研究室の伝統行事
収穫祭

大地の恵みに感謝して、お餅と豆腐を学生が手作り!

作物管理学研究室では、毎年11月中旬に「収穫祭」を行っています。圃場で穫れた大豆ともち米を集めて、加工室で豆腐とお餅を手作り、今年の収穫に感謝しながら頂くというもの。30年以上続く伝統行事で、山口教授が学生のときからあったそうです。豆腐作り、餅つきに挑戦するのは10月に研究室に入ったばかりの3年生。先輩に作り方を教わったら、あとはもう実践あるのみ。「相当苦労するのでは?」と思われるでしょうが、普段やったことがないことばかりなので、楽しんでやっています。生産の苦労、調理の手間を知っているからこそ、出来上がった豆腐やお餅の美味しさは格別です。この実感を今後の研究につなげていきたいと思ひます。



CHECK THIS OUT!

鳥大生の活躍を紹介します

トリカツ!



鳥取のグルメは「鳥取なになたべ!」アプリで!

鳥取の魅力を知ってもらいたい

「鳥取って砂丘以外何も無い」。森本萌さんと関口和人さんは、鳥取を訪れる観光客はおろか、鳥大生や地元の人たちからもそんな言葉が発せられることに疑問を感じていた。「鳥取には美味しい店がいっぱいあるのに。どうにか情報発信できないかな」。全く別々に、同じことを考えていた2人は、サークルのSNSを通じて偶然お互いの思いを知り、「一緒にやろう」と意気投合。そこにイラストが得意な濱川菜緒さんも加わり、平成27年12月にチーム「鳥取なになたべ!」(以下、「なになたべ」)が誕生した。

「食いしん坊な鳥大生が、美味しいグッズオススメしたい」と感じた飲食店の情報発信をコンセプトに、まず最初に始めたのはツイッター。キャンパス周辺の学生御用達店、地元の穴場店、女子ウケしそうなカフェなどを次々と紹介。するとすぐに反響があり、10代後半〜20代を中心にフォロワーはたちまち4千人を超えた。

「でもツイッターには140字以内という制限があり、掲載できる情報に限界があった」と関口さん。店舗の場所、連絡先等詳細までは網羅できなかったのだ。次の展開としてスマートフォン用アプリやWEBメディアの活用を構想していたところ、救世主のように現れたのが工学部の久保見憲さん。アプリ制作に興味を持ち、

「なになたべ」は、アプリ・SNS・WEBサイトの3媒体を駆使して美味しい情報を発信しています。アプリは店舗のマップ検索・カテゴリ検索が可能。電話予約をしたときは「電話をかける」アイコンからすぐに連絡できますよ。

利用も店舗も喜ぶ便利アプリ

久保見さん加入により、平成28年6月にアプリが完成。マップや検索機能が付き便利さアップ。女子を意識したかわいデザインにもこだわった。現在、累計ダウンロード数は500ほど。「あのお店、美味しかったよ」「次はこの店を載せて」等のコメントが寄せられているとか。また掲載店舗から「お客さんが増えた」の声もあり、うれしい限りだ。

森本さん、関口さん、久保見さんはこの4月から社会人となった。しかし、3人とも活動は続けるというからたのしい。後輩の杉野ほなみさんらも「取材はもちろん、友達にアプリを紹介したり「使い勝手はどう?」と尋ねたりしています」と活動を引き継ぎ、支えている。「今後も在学生と連絡を取りつつ、新たに社会人ライターを増やし活動を発展させていきたい」と森本さん。これからは「鳥取は行くところがありすぎて困る」と言われるようになるかもしれない。

私たちが受け継いでいきます!



※学年は取材時

美味しそうに見える! アンゲルは?!

もっと知りたい!
鳥取なになたべ!
のすべて

About TOTTORI NANI-TABE!

アプリ機能! 考案中!!

代表・編集長
もりもと めい
森本 萌 さん
大学院
農学研究科2年

意見交換しながら進化中!

アプリ開発に必要な資金は、行政からアドバイスをもらい、クラウドファンディングで集めました。活動の進め方はメンバー同士でしっかり話し合います。時にバトルになるほど(笑)。でもみんな仲良しです。

オリジナルポスターも作りました!!

アプリ部門担当
くほみ けん
久保見 憲 さん
工学部
知能情報工学科4年

飲食店探しに超便利!

さっそくチェック!

なになたべ! ホームページ
なになたべ! アプリダウンロード

企画部長
せきぐち ひとし
関口 和人 さん
農学部
生物環境資源学科4年

取材・撮影も自分たちで

写真OKかどうかをお店の方に確認した後、撮影&実食。そして「ぜひみんなに紹介したい!」と思ったらアプリ・SNSへの掲載許可を求め、という流れで取材を進めています。フォロワーからの反響が僕のモチベーションです!

たべろう君の生みの親です!!

ライター
はまかわ なお
濱川 菜緒 さん
農学部
共同獣医学科4年

このキャラが目印です!

1世帯当たりのカレー消費量で日本一に輝いたことがある鳥取市は、美味しいカレー店の宝庫! 砂丘ラッキョウの特産地でもあり、そこから「たべろう君」をデザインしました。メンバーTシャツのイラストも私が描いたんですよ。

新任教員紹介

MEET OUR NEW TEACHERS

平成29年11月に医学部医学科社会医学講座法医学分野の准教授として着任しました。私は歯学部を卒業して以来、法医学や法歯学の実務・教育・研究を続けてきました。法医学に関するミステリードラマをご覧になった方はご存知と思いますが、法医学の主な役割は死因の究明です。一方、法歯学に関しては残念ながらあまり世間に知られていないようです。簡単に言うと法歯学とは、歯科医学的知識を用いて行う身元確認(個人識別)に関する学問であり、虐待防止や医事紛争などに関する研究も行っています。私が法医学や法歯学に興味を持ったのは、高校生の時に発生した日本航空123便墜落事故です。その際、医師や歯科医師の行う身元確認により、

多くの犠牲者の身元が判明したことを知りました。もし自分の身内が事件や事故の犠牲になった場合、たとえ遺体の一部でも家族のもとへ帰ってきて欲しいと願うに違いはないという思いから、私はこの分野に入りました。我々の行う身元確認は、ご遺体が一刻も早くご家族のもとに帰っていただけるように、また人生の最後にご家族や親類縁者に囲まれたお別れの儀式が執り行われるように、すなわち「ご遺体の尊厳を守る」ために行うものと考えています。そして阪神淡路大震災や東日本大震災などの大規模災害を経験する中で、新たな課題も見出しました。死者であれ生者であれ、その個人の人権擁護に資するための学問を、これからも追究したいと思えます。

ご遺体の尊厳を守る 〜 歯科医師の行う身元確認



鳥取大学着任日：2017年11月1日

医学部医学科 社会医学講座 法医学分野

なかとめ まさと
中留 真人 准教授

略歴
1994年 広島大学歯学部卒業
1994年 大阪大学医学部法医学教室 助手
2009年 藤田保健衛生大学医学部 准教授
2015年 長崎大学歯学部 准教授
2017年 現職

専門 法医学/法歯学(歯科法医学)
趣味 映画・音楽鑑賞/スポーツ観戦/ワイン



鳥取大学着任日：2015年4月1日

大学院工学研究科 情報エレクトロニクス専攻

にしやま まさし
西山 正志 准教授

略歴
2002年 岡山大学大学院自然科学研究科博士前期課程修了
2002年 株式会社東芝 入社
2009年 株式会社東芝 研究開発センター 研究主務
2011年 東京大学大学院情報学府博士課程修了(社会人博士)
2015年 鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻 准教授

専門 パターン認識/画像認識/拡張現実感
趣味 クラシック音楽/読書

人間の想像力はコンピュータで再現できるのか？

平成27年4月に着任し、鳥取での生活は三年になりました。冬の積雪に驚くものの、美味しい海の幸や山の幸を豊富に食することができたため健康的な毎日を送っています。

私の研究分野はパターン認識です。画像など大量データから意味のある情報を取り出すことを目的としています。例えば、防犯カメラを用いた顔認識、車載センサーを用いた運転支援、スマートフォンを用いた音声認識などが皆様の身近なところで実用化されています。中でも積極的に取り組んでいる研究テーマが画像認識です。人間は画像を見ると、そこに写っている人物やモノが何であるか・どのような状態であるか・これから何が起きようとしているかを簡単に想像することが出来ます。しかし、このような作

業はコンピュータが大変苦手としていますが、とても素直で真面目です。最終学年になりますと工学部では卒業研究に、大学院では修士論文に学生は真摯に取り組んでいます。学生が自信をもって発表している姿を見えますと、日本の将来を支える立派な人材になると確信できます。私自身も成長していきたいと思っておりますので、皆様のご指導を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

本学の学生は少し控えめな面もありますが、とても素直で真面目です。最終学年になりますと工学部では卒業研究に、大学院では修士論文に学生は真摯に取り組んでいます。学生が自信をもって発表している姿を見えますと、日本の将来を支える立派な人材になると確信できます。私自身も成長していきたいと思っておりますので、皆様のご指導を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

学びを支える

SUPPORT FOR LEARNING

教育支援・国際交流推進機構

キャリアセンター

国公私立を問わず、今やどの大学でも就職活動等のキャリアサポートに力を入れているとPRしていますが、わがキャリアセンターの支援の特長を一言で表現すれば、「体系化された豊富なガイダンス・セミナー群」と「専門スタッフによる丁寧な相談体制」です。前者は、就職活動とインターンシップについて、数百名規模のものからマンツーマン型の対策講座まで、鳥大生のよきベースメーカーとなるよう年間を通して実施しています。後者は、専門スタッフが学生一人あたりの相談時間をたっぷりとって対応しており、また相談履歴も学内のデータベースに蓄積することでスタッフ内の情報共有をはかっているなど、実は全国的にもかなりの充実ぶりを誇ります。

もしかすると「キャリアセンター」というのは就職活動の時しか縁がない場所、というイメージがあるかもしれませんが、それが、それは、全くの誤解です。キャリアセンターは1年生のうちから利用可能な場所ですし、実際に、利用価値のきわめて高い場所です。特に近年は、インターンシップについての情報収集や相談でキャリアセンターを訪れる1・2年生が増えています。就職活動でも、最近では学生有利の「売り手市場」と言われていますが、他方で「短期決戦化」が進んでおり、のんきに構えているとせっかくのタイミングを逃してしまいます。キャリアセンターが提供する多彩なメニューをふだんからうまく活用して、キャリアデザインの可能性をひろげてください。

ガイダンスから個別相談まで
多彩なメニュー

1年生のうちから
賢く利用しよう

多くの学内外関係者と連携・協働しながら鳥大生の未来づくりをサポートしています。



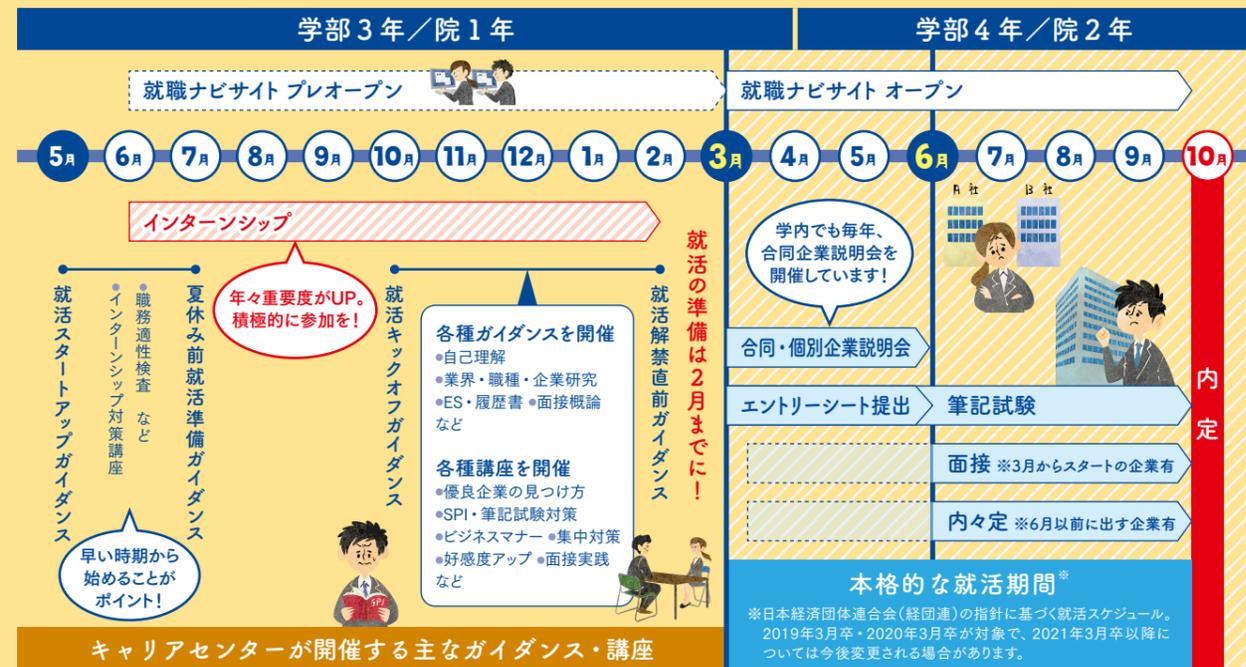
教育支援・国際交流推進機構
キャリアセンター

ながお ひろのぶ
長尾 博暢 准教授

略歴
1997年 京都大学経済学部卒業
2006年 同大学院経済学研究科博士後期課程満期退学
2006年 京都経営者協会インターンシップ事業推進部 統括コーディネーター
2007年 追手門学院大学経済学部 講師
2010年 鳥取大学大学教育支援機構キャリアセンター 准教授 現在に至る

専門 高等教育・後期中等教育におけるインターンシップ/キャリア教育

いつ? 何を? どうする? 押さえておきたい! 就活スケジュール



医学部で死亡時画像診断 (Ai) 業務を開始

2018.4.1



本学医学部では、改修した建物内に附属病院からCT装置を移設、また、読影用ワークステーションを新たに導入し、4月1日より死亡時画像診断 (Ai) 業務を開始しました。死亡時画像診断 (Ai: Autopsy imaging (オートプシー・イメージング)) とは、遺体に対する画像診断の総称で、主に死因究明を目的として行われています。従来の死因究明手段である解剖と比べ、侵襲性・所要時間・コストの面で優れていることから、Aiのみ、または解剖とAiを組み合わせることで、これまでより正確な死因究明が行われることが期待されます。本業務の開始により、死因究明などの法医学領域への活用のほか、学生教育などの解剖学領域についても活躍が見込まれます。

鳥取県ドクターヘリ運航開始

2018.3.26



本学医学部附属病院を基地病院として、鳥取県全域・兵庫県北西部等を運航範囲とする鳥取県ドクターヘリ“KANSAI・おしどり”が運航開始されました。運行開始式には、主催者、来賓、関係者合わせて約100名が列席し、調印式ならびにテープカットが執り行われ、式後には、ヘリポートにて救命救急センターの医師・看護師からドクターヘリ業務についての説明を聞きながら“KANSAI・おしどり”を見学しました。半径70キロ圏内の救急要請に応え、出動することで、より迅速に救急医療を提供することができ、救命率向上、へき地救急医療体制の強化、効率的な災害医療活動等の効果が期待されるドクターヘリ事業にご理解とご協力をお願いします。

2018鳥取大学COC+セミナー 第2回鳥取未来トークを開催

2018.1.26



地(知)の拠点大学による地方創生推進室では、地方創生の一環としての学生の事始めや事起こし、就職後のキャリア形成に役立てることを目的にCOC+セミナー「鳥取未来トーク」を開催しています。今回は、元若桜鉄道株式会社代表取締役社長の山田和昭氏を講師にお招きし、「地域をつなぐ挑戦！」と題して講演いただきました。若桜鉄道の置かれた歴史や環境に対して、40年以上変わらない沿線風景やインスタ映えする沿線環境等の価値を活用する事に注目され、『思い込みを外すと可能性が見つかる』ことなどを学生に熱く語りかけました。受講生の一人は「何気ない生活の中にもいっぱい魅力があると思ったので、探していきたい」と感想を述べました。



WHAT'S NEW?



大学の動き

在学生の活躍や大学の取り組みなど、
鳥取大学の最新情報をご紹介します。

新入生ふれあい朝食会を開催

2018.4.9~13



新入生ふれあい朝食会は、新たな環境で学生生活を始めたばかりの新入生に、友達づくりや朝食を習慣づける機会にしておくと、鳥取キャンパス及び米子キャンパスで毎年開催しているものです。教職員や先輩学生とともに楽しく朝食をとりながら、学生生活への不安や疑問などについて、新入生から積極的に質問や相談する姿が見られました。また、食事中には音楽サークルの学生が生演奏を披露するなど、会場のムードを一層和やかにしていました。朝食会に参加した豊島学長は、「初めて1人暮らしをする人も多いかと思いますが、元気に学生生活を過ごすために毎日朝からごはんを食べる習慣をつくり、勉強に励んでください」と新入生に呼びかけました。

平成30年度鳥取大学入学式を挙行

2018.4.6



とりぎん文化会館(鳥取市)において平成30年度鳥取大学入学式を挙行し、学部1,178名、大学院生365名が入学を許可されました。豊島学長は、式辞で「志を高く大きく持ち、絶え間なく勉学に励み、弛み無い自己研鑽に努め、充実した学生生活を送っていただきますことを願い、念じております。」と新入生を激励しました。新入生を代表して、石津凌雅さん(工学部社会システム土木系学科)が、「私たちの挑戦を応援して下さる方々や、お世話になる方々への感謝を忘れることなく、日々精進し実りのある大学生活を送ることをここに誓います。」と力強く宣誓しました。また、式では学業成績等が特に優れ、他の学生の模範となる優秀学生に対する表彰も行われました。

中国東北農業大学で 鳥取大学フェアを実施

2018.3.10



本学が世界に設置している教育研究拠点の1つである中国黒竜江省ハルビン市の東北農業大学において、本学及び鳥取県の魅力を広く紹介し今後の留学生の確保につなげるため、「鳥取大学で実現できる研究と鳥取生活紹介」と題して、鳥取大学フェアを実施しました。フェアでは、大学概要の紹介や交換留学制度のほか、本学学生によるセッションとして、中国人留学生が本学において取り組んでいる研究の紹介と、日本人学生が鳥取での生活紹介、留学生のサポート、農学部での学習について説明を行いました。また、留学生交流事業として毎年留学生と日本人学生の混成チームで参加する「鳥取じゃんしゃん踊り」を披露し、大きな盛り上がりを見せました。

学生対応研修会を開催

2018.3.5



学生支援センター主催による学生対応研修会を開催しました。筑波大学の斎藤環教授を講師にお招きし、「ひきこもりと対話」というテーマでご講演いただき、薬に頼らず対話だけで治療する「オープンダイアログ(開かれた対話)」を用いたひきこもりの改善について、1対1ではなくチームで対応すること、対話とは面と向かって言葉を交わし、説得・議論とならないことが重要である点をご紹介いただきました。また、斎藤氏と本学の教員による対談を行い、参加者から寄せられた質問に答えながら、具体的なコミュニケーションの取り方などについてアドバイスを頂きました。今後の学生支援における課題や改善方法の検討について大変参考になる有意義な研修会となりました。

大学からのお知らせ

INFORMATION

【平成29年度科学研究業績表彰】

科学研究業績表彰は、本学教員の中から、科学研究業績（権威ある学術雑誌・紀要等に掲載されるか又は著書として刊行されたもの）が特に優れていた教員を表彰するものです。

<https://www.tottori-u.ac.jp/item/15778.htm#ContentPane>



出席者による記念撮影

地域学部
塩沢 健一 准教授

庁舎整備の政治学：住民投票実施に至る政治過程と有権者の投票行動

医学部附属病院
山梨 豪彦 助教

NLRP3インフラマソーム阻害物質であるβヒドロキシ酪酸はストレスによる行動と炎症性の変化を抑制する

大学院工学研究科
鈴木 宏和 准教授

Geobacillus kaustophilus HTA426から構築した高変異性好熱菌における耐熱化指向性の酵素進化

農学部
兵頭 正浩 准教授

ひび割れを付与したRC管に対する断面内剛性の評価

国際乾燥地研究教育機構
Nigussie Haregeweyn Ayehu 特命准教授

河川流域におけるより良い土地利用計画のための土壌侵食の総合的評価：青ナイル川上流域における事例研究

鳥取大学 広報企画室学生広報スタッフ 主催

どなたでもご応募できます

鳥取大学 Tottori University 創立70周年記念

フォトコンテスト

応募したい写真の応募待っています

鳥取大学は1949年に設置され、2019年に創立70周年を迎えます。このたび、広報企画室所属の学生広報スタッフが、70周年記念オリジナルカレンダーの制作を企画し、フォトコンテストを開催いたします。鳥取大学に関する写真を撮影したり、学生時代の思い出写真を見返したりして、ぜひご応募ください。

応募テーマ 『鳥大再発見 ～みんなに教えた一枚～』

応募期間

第2期 5～8月の掲載候補

2018年5月1日 ▶ 8月31日

第3期 9～12月の掲載候補

2018年9月1日 ▶ 12月31日

賞及び賞品等

カレンダー掲載作品1点につき

図書カード 5,000円分

応募方法・注意事項など詳しくはWebサイトでご確認ください。

鳥取大学 70周年 フォトコン 検索



本号は新入生歓迎特集号として、昨年度の優秀学生と学長の対談、さまざまな本学の学生サポートの取り組みを紹介しました。本学では、学生の勉学や就職活動、あるいは経済的支援や表彰などさまざまなメニューを用意して、学生を支え、また応援しています。新入生だけでなく在学学生にも大いに参考にして貰えたら幸いです。

また本号から一部内容を刷新しました。教員個人の研究内容を紹介してきた「話題の研究」を「話題の研究」とし、学生・院生らもふくむ研究室の紹介に、またさまざまなテーマの学生対談「Student's Voice」も、装いも新たに「鳥大生の活躍」を紹介する「トリカッター」へと模様替えです。いずれもこれまで以上に学生に焦点を当て、写真も大きくして見やすい紙面づくりを目指しました。もしかしら次号はお子さんの研究室、活躍が登場するかも知れませんが、最終ページにある委員会メンバーのほか、担当事務局の職員さん、取材などに奔走して下さっている業者さんらとワイワイしながら本年度も作成します。引き続き「風紋」を宜しくお願いいたします。(H・Y)

編集後記
EDITOR'S NOTE

Circle Activities

混声合唱団フィルコールはコンクールや演奏会に向けて、毎週火、木、土曜日の週3回活動しています。主に大学会館で活動していますが、地区の公民館を借りて練習することもあります。例年60名ほどの部員で活動しており、そのうち約8割が未経験者です。新歓では、上級生の家で一緒にご飯を作って食べる「ごはん会」を毎年行っており、それをきっかけに新たに挑戦してみようとする人も多いため、中には音楽の勉強になると思い入部した、将来教員志望の男性部員もいます。



チーフマネージャー

いまなか こうのすけ
今中 康之輔さん
工学部
化学バイオ系学科3年

副部長

もろと はるな
諸戸 春奈さん
農学部
生物資源環境学科3年



また大会に出場するだけではなく、大学の行事や県内で行われる各種音楽イベントに参加したり、学内で部内演奏会をしたりもします。定期演奏会は毎年12月末に開催していて、それが終わると幹部の学年が交代となるので1年間の集大成となります。今年の定期演奏会は12月23日にとりぎん文化会館梨花ホールにて行います。よろしければぜひお越しください。

すことが出来るのが合唱の楽しさです。部員一人一人の誕生日を歌って祝う合唱部らしい伝統もあります。普段は学生指揮者とパトリリーダーを中心に練習していますが、西岡千秋教授(専門：音楽指揮)が常任指揮者を務めてくださり、特に夏から秋に出場するコンクールは先生から直接指導していただけるので、先生が指揮をとると場の空気が変わります。楽しく、真剣にメリハリのあるサークル活動を行っています。

※サークル紹介記事は学生広報スタッフが担当しました。

サークル紹介

混声合唱団フィルコール



2018夏 オープンキャンパスを開催します!

7/21(土) 7/22(日) 7/28(土)

地域学部 工学部 農学部 医学部
鳥取キャンパス 鳥取キャンパス 米子キャンパス

鳥取大学を体験できる絶好の機会!

各学部ごとに内容が異なりますので詳細はHPでご確認ください。



携帯 <http://daigaku.jc.toridai/>
PC <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

鳥取大学入学試験情報 検索





読者アンケートにご協力いただいた方へ
プレゼントが当たる!

今後のよりよい誌面作りのために、皆様からのご意見やご要望をお待ちしています。アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で20名様にプレゼントを進呈いたします。

20名様
鳥取大学
オリジナルグッズ
3点セット



アンケートのご回答はこちらから

プレゼント応募締切 | 7/31(火)

※ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送以外には使用いたしません。また、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



大学からのお知らせ

INFORMATION

どちらも!
申込不要
受講料無料

サイエンス・アカデミーのご案内

テーマ 異分野融合研究：分野を超えた研究が課題を解決する

日時

6/9(土) 10:30 ~ 12:00

テーマ

カニ殻由来の夢の新素材
「キチンナファイバー」の
美容・健康効果

講師

工学研究科
准教授 伊福 伸介

会場 鳥取県立図書館 2階 大研修室(鳥取市尚徳町101)

お問い合わせ 鳥取大学地域価値創造
研究教育機構企画管理室 TEL 0857-31-6777

とっとり県民カレッジ講座(特別講座)のご案内

テーマ 地域を学び地域で活かす

日時

6/23(土) 10:30 ~ 12:00

テーマ

地方創生は文化力で
~創造性が地域をつくる

講師

地域学部
特命教授 野田 邦弘

会場 鳥取県立図書館 2階 大研修室(鳥取市尚徳町101)

お問い合わせ 鳥取大学地域価値創造
研究教育機構企画管理室 TEL 0857-31-6777

中期経営計画

NEXT VALUE

~お客さま・地域との共通価値の創造~

期間/2018年4月~2021年3月

未来への変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造 **CSV** する銀行

目指す姿

Creating Shared Value

基本方針

1. 地元への積極的な資金供給による地域経済の活性化
2. 本業支援とコンサルティングを通じたお客さま本位の業務運営

とりぎん



鳥取銀行の今をウェブサイトでご覧いただけます!

TOTTORI
BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

風紋のバックナンバーは、こちらから

www.tottori-u.ac.jp/fumon

鳥取大学広報誌

検索

鳥取大学に関するお問い合わせ

- 入学試験 0857-31-5061
- 研究・産官学連携 0857-31-5608
- 公開講座・社会貢献 0857-31-6777
- 学生・学生生活 0857-31-5053
- 授業料納入 0857-31-5029
- 学生就職支援 0857-31-5456

その他はホームページ www.tottori-u.ac.jp/ask をご覧ください

編集発行 / 広報委員会 広報誌編集専門委員会

2018年5月発行

山下博樹(委員長・地域学部) 筒井宏樹(地域学部) 西村正広(医学部) 塩崎一郎(工学研究科)
遠藤常嘉(農学部) 滝波稚子(教育支援・国際交流推進機構) 山岸大輔(研究推進機構) 川村 優(総務企画課)

〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 TEL.0857-31-5006 FAX.0857-31-5018
[E-メール] toridai-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp [ホームページ] <https://www.tottori-u.ac.jp>

*本誌掲載の写真、図版、記事などの無断複写・転載を禁じます。

表紙題字：住川英明(地域学部)



鳥取大学
Tottori University